

DPFマフラー洗浄概要



①洗浄前差圧計測

洗浄後の差圧と比較するため洗浄前の差圧を計測致します。



②洗浄作業

加温した洗浄液をポンプでフィルターに圧送（循環洗浄）し、ススは溶かして、灰は押し出します。
フィルターから出てくる洗浄液の様子を見て、洗浄時間を調整致します。



③洗浄後差圧計測

乾燥工程の後、洗浄後の差圧を計測し、洗浄前と比べて差圧が当社規格値迄回復しているかを評価する。合格した製品に対して報告書を添付して出荷します。



洗浄前



洗浄後



分解・洗浄前



洗浄・再組立後

【当社のDPFマフラー洗浄の特徴】

①専用洗浄液により使用済みDPFマフラーのフィルター、触媒の洗浄

洗浄液は日本油化工業(株)製を使用し、煤や灰を除去します。洗浄液の成分は公開されています。

②フィルター単体での差圧計測

洗浄前と洗浄後の差圧計測により、差圧の回復状況を数値で評価致します。
また、合格値まで差圧が下がった製品を組立て出荷致します。

③廃水処理

洗浄廃液は、下水道放流基準以上の重金属（鉛、亜鉛）を含む場合がある為、そのまま下水道に流すことはできません。また、油水分離槽では分離除去できません。
この為、自社内での廃水処理装置の運用と専門業者への廃液処理を委託しています。